

			2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科						
時 期	2 年C巡	単元	実習	教科名	電装品整備2	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産4級電装		発行日	
			日産3級電装			
総時限	23時限 (36時間)				教科担当	教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の分解・組立・点検等について指導する。						
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)						
1. 電位測定、電気信号の観測や点検が車両で出来る。(パワーウィンドウ)						
2. 配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。(E S Mを使用)						
3. 車両に関する電気装置の脱着が出来る。(パワーウィンドウ・レギュレータ脱着)						
4. オルタネータの脱着が車上でできる						
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来ようになるのか)						
1. 配線図集より回路を抜き出し、回路が読むことが出来る。また、回路図上での電位測定の予測ができる。(電動ミラーにて実						
2. サーキット・テストで該当箇所の測定を行い、測定表の作成ができる。						
3. 部品の脱着を通じて車両を取扱う上での注意点、車両チェックをマスターする。						
4. 日産 3 級の電装分野をマスターする。						
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)						
実技試験と筆記試験の合計点が60(70)点以上を合格とする。(実技試験60%、筆記試験10%、レポート15%、行動評価1						
5. 準備学習						
T S 3 級 (電装)、T S 4 級 (電装)、2 級 2 輪自動車の教科書事前に読み予習を行う。						

授業計画

[illegible]

■：対面授業

		2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					
時 期	2 年C巡	単 元	実 習	教科名	電装品整備2
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	エンジン始動	周囲に声掛けを行い、確認してから始動する事 窓越しの始動は禁止する。		不意に車が動き出し、構内で接触事故を起こした	
2	配線作業	配線のつなぎ合わせに間違いがないこと。			
3	輪止め	接地している車両には、駆動輪に対して輪止めをおこなう。			
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		